



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

き さ き  
**木佐木 ただまさ**

**日本共産党** 見解を紹介します

いのちとくらし  
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

# IRカジノに未来なし！ コロナ対策に注力を！

## 国への調査を行いました

5月27日、日本共産党のはたの君枝衆議員、上野たつや県議、古谷やすひこ市議らと一緒に、国のIRカジノ誘致計画について調査をしました。観光庁、カジノ管理委員会から説明を受けました。

国は、今年1月に基本方針案を出すというスケジュールを組んでいましたが、国民の反対世論に押され、未だに示すことができていません。

横浜市は、粛々とカジノ誘致の準備を進めていますが、新型コロナの感染拡大や、横浜の最有力候補と見られていたラスベガス・サンズの撤退表明など、大きな情勢の変化が起きています。

国としては、新たに噴出している様々な課題に対し、どのような対策検討をしているのか聞きました。

## 感染症対策は事業者・自治体まかせ

まず、コロナ禍を受け、その重要性が増した感染症対策についてです。カジノは、「3密」を避けるのが非常に難しいものです。国としてどのような策を講じるのか問いただしたところ、「誘致検討をしている自治体などに対策をとるように言っている」というもので、自治体・事業者任せの態度でした。

## 住民合意の客観的な判断なし

カジノIRの設置可否については、国は「住民合意を重視する」との説明を繰り返しましたが、住民投票は義務づけていません。また、林文字市長は住民に賛成・反対を聞かないと言っています。これでは、住民合意が形成されたのかどうかを客観的に判断する方法がありません。

横浜のIRカジノ構想は、どの世論調査でも反対



国のIRカジノの説明をうける=5/27

が賛成を大きく上回っています。カジノの是非を問う住民投票を実現し、市民の考えを客観的に示すことが重要です。

## 全て未定だが、スケジュールは変えない…こんな進め方は許せない！

国としての基本方針をいつ出すのか、誘致を希望する自治体から出された計画案をどう審査するのかなど、全てが未定とのことでしたが、来年1月から7月の（カジノ事業者と自治体が共同で計画案を作成し国に提出する）申請受付時期は変える予定はないとのこと。地域の将来に重大な影響を与えるIRカジノについて、こんな進め方で良いのでしょうか。国の姿勢に怒りがわきます。

## カジノよりコロナ対策を

横浜市は、カジノ誘致に4億の予算をつけておきながら、コロナ対応には市独自の財政出動は10億しかつけていません。このような姿勢を改めさせるために、「#カジノよりコロナ対策を」の声を広げ、カジノ是非問う住民投票を成功させましょう！